ワードのアート効果を使っていろいろな画像を PCクラブ 2020.08.19

伊藤 嘉明

空の風景



色々な画材で実際に描いたような画像になったり、質感が変わったり、

アート効果を適応するだけで、がらりと雰囲気が変わる!

ワードを立ち上げ、画像を挿入。

画像をクリックし、「図ツール/書式」から「調整」タブの「アート効果」をクリック

「アート効果」の一覧から「アート効果のオプション」をクリックすると、「図の書式設定」画面が 画面に右に表示される。

図の書式設定

例:「ぼかし」をクリック、標準スタイルの一覧から任意のスタイルを選ぶ











図の書式設定について

▲ 反射

標準スタイル(P)

透明度(<u>T</u>) -

サイズ(<u>S</u>) ⊢ ぼかし(<u>B</u>) ⊢

距離(D) ト

▷ 光彩

YOU DESKLOP	~
図の書式設定	- ×
🔄 🖄 🖒	
4 28	A
標準スタイル(P)	•
色(<u>C</u>)	
透明度(I)	‡
サイズ(<u>S)</u> トーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー	*
ぼかし(目) トーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー	\$
角度(A)	÷
距離(D) トーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー	÷

影

標準スタイル \rightarrow 一覧から任意 色 \rightarrow 一覧から任意 透明(過)度 \rightarrow %を上げると透明度がます サイズ \rightarrow 100%以上に設定すると画像より大きくなる ぼかし \rightarrow Pt をあげると色がぼけ、ばかし部分が大きくなる 角度 \rightarrow ぼかしなどの位置がかわる 距離 \rightarrow Pt を上げると図がなくなるようになっていく

又虾	Ţ	射	
----	---	---	--

100%

0 pt

0 pt

\$

\$

+

\$

標準スタイル → 一覧から任意
透明(過)度 → %を上げると薄くなっていく
サイズ → %を上げると反射部分が大きくなる
ぼかし → Ptを上げると反射部分がぼける
距離 → Pt を上げると反射部分が画像から離れていく

Þ	反射		
4	光彩		
	標準スタイル(P)		
	色(<u>C</u>)		- 2
	サイズ(<u>S</u>) トーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー	0 pt	* *
	透明度(工) ⊢	0%	\$

光彩

標準スタイル → 覧から任意
色 → 一覧から任意
サイズ → Pt を上げると光彩部分が広くなる
透明(過)度 → %を上げると光彩部部の色が薄くなる

4	ぼかし		
	標準スタイル(<u>R</u>)		
	サイズ(工)	÷	

ぼかし

標準スタイル → 一覧から任意 サイズ → Ptを上げると画像全体にぼかしがかかる

3-D	書式
ענ	首人

面耳	すり	上	:	幅	: P	℃	´高さ	:	Pt
面耳	文 り	下	:	幅	: P	∙t∕	(高さ	:	Pt
奧征	Ţ	\rightarrow	Ą	ナイ	ズ]	Pt			
輪享	ß	\rightarrow	Ļ	ナイ	ズ]	Pt			
質愿	<u></u> 文								
光测	亰	\rightarrow	ſ	角度	%				
リセ	ミツ	ト							

▲ 3-D 書式			
面取り: 上(<u>工</u>)			
-	幅(<u>W</u>)	0 pt	÷
	高さ(<u>H</u>)	0 pt	÷
面取り:下(<u>B</u>)			
	幅(<u>D</u>)	0 pt	÷
	高さ(<u>G</u>)	0 pt	\$
奥行き(<u>E</u>)			
2	サイズ(<u>S</u>)	0 pt	\$
輪郭(<u>O</u>)			
<u>></u> +	サイズ(<u>S</u>)	0 pt	÷
質感(<u>M</u>)			
-			
光源(<u>L</u>)			
	角度(<u>A</u>)	0°	÷
			*

▲ 3-D 回転		
標準スタイル(<u>P</u>)		
× 方向に回転(<u>×</u>)	0°	¢ 🖏 🤌
Y 方向に回転(Y)	0°	÷ 🐨 🐨
Z 方向に回転(Z)	0°	¢ 🔊 🚱
透視投影(E)	0°	÷ + +
■ テキストを立体表示しない(K)		
底面からの距離(<u>D</u>)		0 pt 🗘
リセット(<u>R</u>)		-

3-D 回転

標準スタイル \rightarrow 一覧から任意 X 方向に回転 E/石Y方向に回転 E/下Z 方向に回転 時計回り/反時計回り X・Y・Z 方向は、任意に角度をつけることができる 遠視投影 テキストを立体的に表示しない 底面からの距離 \rightarrow Pt を上げると画像が大きくなる リセット

図形の枠線の装飾

図形を挿入 → 図形を選択 「描画ツール/書式」 → 「図形の枠線」 → 一覧から「実線/点線」→ 一覧から「その他の線」 → 画面右側に図形の書式設定が表示される 図形を選択 → (塗りつぶし)線(グラデーション)を選択 - x 図形の書式設定 既定のグラデーション → 一覧から任意 🄄 🗘 🖾 種類 ▲ 線 線なし(<u>N</u>) 方向 ○線 (グラデーション)(<u>G</u>) 角度 - 🖄 色(C) 透明度(<u>⊥</u>) ⊢ 0% グラデーションの分岐点 \$ 1 pt 幅(<u>W</u>) \$ 色 =-一重線/多重線(<u>C</u>) 実線/点線(D) 位置 線の先端(<u>A</u>) フラット 🔻 透明度 線の結合点(<u>]</u>) 角 始点矢印の種類(B) 明るさ = -始点矢印のサイズ(S) 終点矢印の種類(E) $\stackrel{\longrightarrow}{\longleftrightarrow}$ 幅 終点矢印のサイズ(<u>N</u>) 一重線/二重線 線の先端 線の結合点